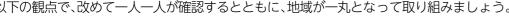
防災訓練で、繰り返し確認を

白主防災活動

以下の観点で、改めて一人一人が確認するとともに、地域が一丸となって取り組みましょう。



災害を「知る」

各ハザードマップで自宅や勤務先周辺の災害の危 険性を確認しましょう。また、避難経路に危険箇所 がないか、地域で避難の際に支援が必要な 人がいないかなどの確認も重要です。





各ハザードマップ

□Q 災害を 「学ぶ」

さまざまな災害が発生する原因や過去の被災事例 などを学びましょう。また、一人一人が命を守るた めに、防災情報の入手方法や、避難する際に注意す べき点を学ぶことも大切です。

災害に「備える」

非常持出品や備蓄品の用意、防災行動計画(マイ・ タイムライン) の作成を検討しましょう。また、避難 などに必要な資機材を整え、日頃の防災訓練で使い 方などを確認し、災害に備えましょう。



「防災アドバイザー」を派遣します

防災アドバイザーが地域の防災活動 をサポートします。費用は無料ですので、 市民安全課までお気軽にご相談ください。



詳しくは

- ●各種訓練の企画やアドバイス
- ●ハザードマップを活用した避難対策の検討
- ●防災に関する講話
- ●避難行動要支援者の避難訓練支援
- ●非常持出品・備蓄品の説明 など

「上越市防災資機材整備補助金」をご活用ください

市内の町内会を対象に、災害時の避難や防災訓練 の実施に必要な防災資機材購入費用を補助します。 詳しくは市ホームページをご覧ください。

●補助金の額…購入する費用の4分の3 ※補助金の交付は、1町内会につき1回。 補助金の上限額は、町内会の世帯数に 応じて10万円~30万円。



「購入経費が補助対象となる防災資機材

車いす、リヤカー、トランシーバー、毛布、 暖房器具、テント、発電機、投光器など







防災 減災 にいがたプロジェクト

防災講演会 E開催Lます

□ 時 9月28日

午後2時~4時30分(受付:午後1時30分~)

会 場 ユートピアくびき希望館

申し込み 9月13日 金までに防災委員会事務局 (市民安全課内、☎025-520-5660) に電話、または市ホームページの申 し込みフォームから



市ホームページ

内容

●第1部「上越地域で予測される地震・津波災害」



講師:卜部 厚志 氏 新潟大学教授、 災害·復興科学研究所所長

●第2部「震災時の久之族、そしてその後」



講師:石川弘子氏 「いわき語り部の会」



インタビュー

住民アンケートを行い 災害に備えています

直江津区港町一、二丁目町内会



┛ 町では、いつ起こるか分からない災害に備 えて毎年防災訓練を行っています。災害が起きた 際は、住民に避難の有無、避難に要した時間など をアンケートで聞き取り、毎年の訓練に生かして います。今回の地震後に行ったアンケートでは、 これまでの訓練の成果が生かされ、津波警報が出 る前に避難できた人がいた一方で、避難場所を間 違えた人や、体調が悪く避難できなかった人がい たことが分かりました。

今後はこれらの課題を踏まえ、地図を使った「図 上訓練しで誰がどこにどのように避難するかお互

いに確認し合うととも に、自力で避難できな い人の避難方法につい て検討していく予定で す。



地震後に実施された避難訓練

地域での防災活動を 見直しています

頸城区上吉町内会



🤼 回の地震では、発災直後の避難行動や避難 どおり行うことができませんでした。そのため、 自主防災組織内で決めていたこれまでの役割を改 めて整理するとともに、町内の皆さんには、災害 時に自分や家族がどう行動するのかを確認しても らうため、防災行動計画 (マイ・タイムライン) の作成をお願いしています。

また、避難に支援が必要な高齢者などについては、 誰が声がけをして避難誘導を行うのかを地図に落 とし込む「支え合いマップ」の作成を進めている ほか、外国人市民については、災害時の意思疎通

で困らないよう、日頃 から食事会など交流イ ベントを開催し、関係 づくりを進めています。



外国人市民との交流会

9 2024・9 広報 じょうえつ 2024・9 広報 じょうえつ 8